

地域整備方針

(東京都)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
<p>渋谷駅周辺地域</p>	<p>〔都市再生緊急整備地域〕 特徴ある地形のもとで形成された商業・業務・文化・交流機能の集積を生かし、周辺のみどり豊かな環境と調和をとりつつ、多世代による先進的な生活文化等の世界に開かれた情報発信拠点を形成 駅施設の機能更新と再編を進めるとともに、それを契機に周辺地域での街区再編および開発の連鎖による総合的なまちづくりを推進し、駅から周辺の個性的な街へ連続する、にぎわいと回遊性のある、災害に強く、安全・安心で歩いて楽しい都市空間を形成</p>	<p>○文化・情報発信力をさらに高め、渋谷の活力を強化させるため、様々な世代のニーズに対応し、国際的にも通用する先端的で魅力ある都市機能として、世界に開かれた文化・交流・発信機能や、クリエイティブコンテンツ産業等の先進的な業務機能、産業育成機能、賑わいを強化する商業機能等を積極的に充実・強化</p> <p>○地域の活力を継承・発展させ国際競争力の向上に寄与するため、最先端の文化や情報をリアルタイムに世界へ発信する生活文化等の情報発信機能の強化</p> <p>○ユニバーサルデザインに配慮しつつ、乗換え利便性、羽田空港との結節性の向上、ゆとりある駅前広場や歩行者空間の拡充などにより、交通結節機能を強化</p> <p>○老朽建築物の更新に合わせた街区再編や災害時対策の推進による防災機能の強化</p> <p>○国内外からの来街者の多様な活動・交流を支える観光支援・宿泊機能等の充実・強化</p> <p>○地域の活力を継承・発展させる世界に開かれた生活文化の情報発信機能の強化</p> <p>○多様で持続的な地域活動及び地域コミュニティの形成を支える居住機能と生活支援機能の強化</p> <p>○震災等に対応できる都市防災機能の強化 この際、人口・機能等が特に集積する大規模ターミナル駅周辺において都市防災機能の一層の充実</p>	<p>○駅中心地区の自動車交通の錯綜を改善し安全な歩行者空間を確保するため、ハチ公広場を含めた東西駅前広場を再編・拡充し、駐車・駐輪施設や、駐車場ネットワーク、周辺の街路を整備するとともに、周辺地域と連携した効果的な交通処理を実現する施策等を導入</p> <p>○東京メトロ副都心線と東急東横線との相互直通化及び地下化</p> <p>○乗換え利便性の向上や分かりやすい動線の確保を図るとともに、ユニバーサルデザインに配慮した安全で快適な駅空間を形成するため、銀座線等を含む駅施設の大規模改良を検討</p> <p>○地形の高低差の解消やまちの分断の改善など、地形的特性に対応した立体的な歩行者ネットワークの形成を促進 ・都市開発事業とあわせて駅前広場や国道246号等を活用し、駅と周辺地域をつなぐ地下広場、地下通路、デッキの整備 ・駅東西及び周辺地域を結ぶ自由通路等の整備 ・建築空間等を活用した上下移動が容易な動線の確保</p> <p>○公共的空地や道路沿道の緑化、保水性舗装などの実施により、景観づくりやヒートアイランド現象の緩和に寄与</p> <p>○地域に点在する歴史・文化資源を活かし、来街者が楽しむことができ、地域の人々と交流することができる賑わいのある公園・広場等の整備</p> <p>○駅及び駅周辺地区の基盤整備にあわせ、都市型集中豪雨対策として、雨水貯留槽整備などによる浸水・冠水対策を強化</p> <p>○都市開発事業に関連した道路整備により、</p>	<p>○駅中心地区において公共施設と建築物との一体的な整備等により、限られた空間に多様な機能の集積を図る都市開発事業を促進</p> <p>○駅中心地区においては、渋谷らしさを活かしながら新しい渋谷の顔となる拠点を形成するため、街の玄関口にふさわしい駅前の景観と、沿道ごとの特色を生かした個性的な街並みの形成を促進</p> <p>○建築敷地内の空地の活用や鉄道上空等の活用により、地域内の回遊性を高める歩行者ネットワークの形成を促進</p> <p>○道路や公園などのみどりの厚みを生み出し、また渋谷川などの水辺を生かした良質な空間を創出する都市開発事業を誘導し、周辺とも連動した水とみどりのネットワークを形成</p> <p>○都市開発事業間での連携のもと、災害時の避難場所で地域の防災活動を支援する広場空間や建築敷地内の溜まり空間などを創出し、災害に強いまちづくりを推進</p> <p>○周辺地域において、防犯対策とまちづくりの取組の連携協働により、魅力ある繁華街の再生を促進</p> <p>○都市開発事業における敷地内緑化、屋上緑化、壁面緑化などヒートアイランド対策を誘導</p> <p>○駅中心地区において、街区間で連携したエネルギー管理の合理化や、面的なエネルギーネットワークの形成等により、総合的なエネルギー効率の向上を図る都市開発事業を誘導し、環境負荷低減に向けた取組みを促進</p> <p>○公民連携によるエリアマネジメントの取組みや、まちの持続的・広域的な成長を発信す</p>

			<p>地域内の道路網を強化</p>	<p>る取組みの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導 ○都市開発事業において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムの導入を誘導 ○都市機能が集積しエネルギーを高密度で消費する拠点地区において、複数街区にまたがる面的ネットワークの整備によるエネルギーの自立化・多重化など、地域特性に応じた災害時の業務機能などの継続に資する整備を誘導 ○大規模災害発生時におけるターミナル駅周辺の滞留者等の安全確保に資する退避施設、備蓄倉庫、情報伝達施設等の整備を推進 ○AI、IoT等の先端技術を活用した都市開発事業を促進 ○都市開発事業において、ゆとりある共用スペースや良質なオープンスペースの充実など、新しい日常に向けた対策を誘導
	<p>【特定都市再生緊急整備地域】 渋谷駅の機能更新と周辺都市基盤の再編を契機に、魅力ある商業、業務、文化・交流機能の充実を図るとともに、次世代による先進的な生活文化等の世界に開かれた情報発信拠点を形成</p>			